

# 泉北教育

## 進捗状況提出時(9月末)に注意しましょう 評価基準に変更なし

泉北教育 2107(4月13日付)で、大阪府教育庁が「評価・育成システム」「自己申告票」の目標達成状況について、「上回っている」に「十分」を追加し、「十分上回っている」に変更、また「概ね上回っている」から「概ね」を削除し「上回つ

ている」に変更したこと。これは、「大阪維新の会」などからの「上位評価者を減らせ」との圧力を受けたものであること。

泉北教組は、「システム」の実施主体者である市町教育委員会に対し、「今までの評価の考え方や評価の基準を変えないこと」を求め

ていたこと。その後、泉北教組は和泉市・高石市・忠岡町の各教育委員会と左の確認を行いました。

ていること。報道しました。

### 評価基準変更なしを各地教委と確認

その後、泉北教組は和泉市・高石市・忠岡町の各教育委員会と左の確認を行いました。

### 「評価・育成システム」自己申告票様式一部変更にあたり 泉北教組が各地教委に確認したこと (2018年5月)

1. 今回の表記・様式の変更は「面談における意思疎通など『認識の差』を縮小するため」であって、評価の考え方や評価の基準を変えるものではない。

【和泉市のみ追加回答】今回の表記・様式の変更は、評価基準をよりわかりやすくするためのものであると捉えている。「認識の差」の縮小については、今後引き続き本システム全体で縮小しなければならない。

2. 昨年度までの「概ね達成している」の基準と、今年度からの「達成している」の基準は同じである。

【和泉市のみ追加回答】「概ね達成している」の基準と、「達成している」の基準は同じものであると認識している。

3. 「評価」は、客観的で公正なものでなければならない。

【和泉市のみ追加回答】これまでと同様、「評価育成システム」における「評価」については客観的で公正でなければならないと認識している。

4. 校長によって評価の基準は変わらない。

【和泉市のみ追加回答】今後も校長によって評価の基準が変わることのないよう、校長会、「評価育成システム」にかかる研修会をつづけて確認する。

5. 自己申告票の目標は、当該教職員が主体的に設定し、校長が一方的に目標を変更することはない。

【和泉市のみ追加回答】「評価育成システム」では、すべての教職員が、学校の目標を共有し、その達成に向けた個人目標を主体的に設定することとしている。校長が一方的に目標を変更することはないが、教職員が設定した個人目標が、学校の教育目標等の組織目標と明らかに異なる場合、具体性に欠く場合、当該教職員の役割・経験に照らして適切でない場合、極めて容易に達成可能な目標である場合には、目標設定面談時において当該教職員との話し合いのもと、必要に応じて校長から適切な目標となるよう、目標の修正・変更について指導を行う。

6. 自己評価は、評価者によって一方的に変更されてはならない。

【和泉市のみ追加回答】自己評価について、評価者(校長)が変更の指示をすることはしない。

### 評価・育成システム自己申告票の「進捗状況」評価基準

今年度	計画以上に進んでいる	概ね計画どおりに進んでいる	計画どおりに進んでいない
昨年度まで	計画以上に進んでいる	概ね計画どおりに進んでいる	計画どおりに進んでいない

「概ね」が無くとも評価基準に変更はありません。

多くの教職員が「システム」に不信を持っていて、府教育庁は「手引き」に目的とルールを明記しています。いくつか紹介しますが、最低限のルール逸脱はダメ！



文言は変わっても評価の基準は変わりません。9月末までに提出する「進捗状況」からも「概ね」が削除されていますが、「控えめ」に評価することがないように注意しましょう。

自己申告票原本保管 3回の提出のうち、1. 2回目は「原本」を本人が保管し、「写し」を評価者に提出します。3回目は「原本」を提出し、「写し」を本人が保管します。勝手な「書き換え」を防止する目的だと思われず。目標変更は本人がする